

平成 28 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 9 月 28 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	ひばりが丘公民館	防災講座 家庭の防災・地域の防災 ～本当に必要な備えとは?～	地域づくり	近隣の二つの団地自治会にアンケートの事前調査した結果を基に、今不安に思う課題解決の為、また近隣の高齢の住民と中原小避難所運営協議会をつなぐ事業として実施する。	12/3 土曜日 10時30分～12時30分	都民に配布された「東京防災ブック」を共通のテキストに、首都直下型地震への基本的な日常からできる備えに立ち返って学ぶ。特に今回は中・高層マンション・集合住宅の防災対策について学ぶ。	佐藤 正(一般財団法人自衛隊援護協会事務局長) 東京都総務局総合防災部派遣の講師 ※東京都総務局総合防災部で公募している「東京防災」学習セミナー」派遣講師
2	芝久保公民館	高齢者対象講座 「身体づくりと自然散策！」	交流	運動後、成果を発揮するため市内散策に出かけ交流を深める場を提供	11月7日～21日の月曜日、29日(火) 10:00～12:00	講義と実技指導で身体を動かし自分の身体を知る。運動の成果を発揮。市内散策をする。	①～③中野みゆき(健康体操指導員) ④中村賢司(西東京 自然を見つめる会の代表)
3	芝久保公民館	子ども体験講座 ～空気であそぼう～ 「新聞紙ドーム」	交流	公民館まつりで、参加者同士が協力することにより制作をして地域交流を	11月27日(日) 10:00～12:00	本の読み聞かせ。実験を取り入れたあそび。参加者で新聞紙ドームを共同制作する。	土井美香子 (NPO法人ガリレオ工房理事)

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
4	芝久保 公民館	創作体験講座 「篆刻のたのしみ」	学習・自己実現	多様な創作活動を提案する	11月16日～ 12月7日・全3回	講義と実技指導により、篆刻作品を製作	土田古柵（篆刻の会）
5	谷戸公民館	地域防災・安全講座 「いざという時に動けるように」	交流	自治会親和会、近隣小学校避難所運営協議会と連携することで、いざという時のための顔繋ぎの場とする。	12月3日土曜日 12時～13時45分	①初期消火訓練、電話通報訓練、心配蘇生法とAED使用訓練 ②巨大地震想定DVD鑑賞 ③地域住民による炊き出し訓練	西東京消防署職員 警視庁田無警察署警備課職員
6	谷戸公民館	生きる力をつける！子ども防災講座	学習・自己実現	便利な時代に生活している子ども達に災害にあった時に生き抜くための知恵を知ってもらい、自分でできることがあるということを学ぶ。	12月10日（土） 10時～12時半	①いこいの森公園を実際に歩き、さまざまな防災機能があることを知る。 ②お米をビニール袋に入れて湯煎で炊く、アルミ缶をかまどにして炊く。試食をしながら災害時の食事についても学ぶ。	小野修平 （ジョージ防災研究所代表・防災アドバイザー）
7	谷戸公民館	谷戸の自然と歴史・文化を学ぶ講座Ⅲ 「谷戸の歴史を訪ねて」	地域づくり	ひばりが丘・谷戸地域の歴史を学び、この地域に関心を抱くようになる。また、市民が地域活動	平成28年11月22日 （火）14時～16時、 29日（火）10時～12時	① 高度成長期を経て現在に至るまでの、この地域の歴史を学ぶ。 ② 宿場町田無のルーツとなった谷戸の歴史につ	保谷隆司： 西東京市内の農家 近辻喜一： 田無地方史研究会代表

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
				に参加するきっかけを提供する。		いて、文化財を通して学ぶ。	
8	田無公民館	料理がつながる温かい地域の交流	交流	ふれあいのまちづくり住民懇談会「ファミリーたなし」との共催により、新たな地域福祉の可能性を作り出す事業として実施する。	11月19日(土) 12時～15時	お菓子作り、ラッピング ②参加者交流相互の意見交換から、地域での一人暮らし高齢者の生き方、課題を学びあう。	田無公民館で活動している料理サークル「きたっぱら野菜料理倶楽部」
9	保谷駅前公民館	伝わるコミュニケーションのコツ	学習・自己実現	多文化共生を理解し、西東京市の取り組みの現状を知り、日常の様々な場面で困っている外国の方へ積極的にお声掛けするコミュニケーションの力を学ぶ。	11月16日・23日・30日、12月7日・14日(毎週水曜日・全5回)	① 多文化共生を理解する ② コミュニケーションの取り方 ③ 外国人と話そう① ④ 外国人と話そう② ⑤ 外国人と話そう③	・NPO 法人西東京市多文化共生センター 3人 ・西東京市在住の外国人市民 3人
10	芝久保公民館	障がい理解講座 「地域で共に生きるために」	学習・自己実現	7月に相模原の施設で起きた事件等の社会的背景を含めて、障がいのある人と共に生きる社会とはどんなものかを再考するため、人権や法整備、中途	11/15(火)、11/22(火)、12/2(金)、12/13(火)、12/20(火) 午後2時～4時	①11/15(火) 相模原の事件から人権について考える。 ②11/22(火) 地域で暮らす中途障がいのある人のいまを知る ③12/2(金) パソコンで豊かな生活をつくる(視覚障がい	①④ 佐田光三郎 (障害者と家族の権利を守る都民連合会 事務局長) ② 箭田 ^{やだ} 裕子 (社会福祉法人武蔵野生活リハビリサポート

				障がい等の多視点から学ぶ機会を作る。		がある人への支援) ④12/13 (火) 人権保障としての法整備を学ぶ(差別解消法など) ⑤12/20 (火) 講座の振り返りと意見交換	すばる) ③ ^{まるやま} 圓山みち子 (NPO法人スラッシュ)
11	芝久保公民館	第34回 芝久保公民館まつり	交流	公民館と利用団体とが協力して活動する場を設けることにより、サークル間の繋がり、参加者の交流を図り、新たな発表団体、参加者に繋げる機会にもなる	平成28年11月 26日(土) 27日(日) 2日間	展示、発表、おちゃわんリサイクル、バザーと応援募金、工作体験、木工体験、革小物製作体験、パッチワーク体験、こどもスタンプラリー、路上ライブ(よさこいソーラン)、エンジョイ里山タイムほか	エンジョイ里山タイム講師： ^{たてき} 池田干城(東京都二級緑のボランティア指導者)